

防災対策は日頃から

平成23年は大地震や大雨による洪水など自然災害が多発した年でした。

平穏な日常の暮らしから一変してしまう状況を目にして、私たちは何時起こるかわからない天災に備える必要性を学びました。

「いざ！」と言う時に素早い行動がとれるよう、「もしか！」と言う時に確実な情報が得られるよう、普段から準備をしましょう。
“大切な命を守るために・・・”

◎気象情報に気をつけましょう！

台風や豪雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができます。日ごろから天気予報を気かけ、注意が必要なときにはテレビやインターネットで最新の情報を収集するようにしましょう。



◎定期的に家庭で防災について話し合おう！

災害時には、家族全員が協力し合うことが求められます。そのために、日頃から家族で防災について話し合う機会をもちましょう。防災家族会議は一度で終わりにするのではなく、月に一回程度、定期的に開催することが大切です。



◎非常持出品・備蓄品を準備しよう

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。下記の例を参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。定期的に食品の賞味期限や電化製品の故障がないかをチェックすることも忘れずに。

非常時持出品
・備蓄品の例



町では非常用持出袋と持出品の一部を配付します

町内各世帯に持出袋と手回し充電式多機能ラジオ(ライト・サイレン・携帯電話充電機能付)軍手、タオル、カイロを配付します。

この他の持出品や非常食などの備蓄品は各家庭で準備されますようお願いいたします。

各世帯への配付は、平成24年1月を予定しています。

配付する物品



緊急持出袋

今回配付する持出品、個々に準備する非常食などを入れて、災害時すぐに持出せるところに準備しておきましょう。



手回し充電式多機能ラジオ
電池がなくても手回し充電式ですので、使用可能です。懐中電灯にもなります。また、携帯電話に充電することもできます。



軍手、タオル

小さく圧縮されています。手でほぐすとタオルと軍手になります。

使い捨てカイロ

防寒用に2ヶ配付します。